第29回全国報徳サミット桜川市大会 「時代を超えて息づく報徳仕法によるまちづくり」

■問合先/生涯学習課(大和ふれあいセンター「シトラス」内☎0296-20-6300)

11月15日(金)

「全国報徳研究市町村協議会総会」がシトラス で開催され、大会宣言や次回開催地の協議が行 われました。終了後、出席者は市内の尊徳ゆか りの史跡を見学し、青木堰では青木地区の大関 隆司さんから、薬王寺では住職の寂室純敬さん から説明を受けました。

その後の交歓会では、久原ひょっとこ保存会 の久原のひょっとこ踊りと「桜川ヴィレッジ」 リハーサルバンドによるスタンダードジャズ演 奏が披露され、和やかな雰囲気のもと参加自治 体の交流が図られました。























大会を記念した絵画コンクールを実施

11月16日(土)

大和ふれあいセンター「シトラス」 で、第29回全国報徳サミット桜川市 大会が開催され、全国から約700名 が来場しました。

加波山囃子保存会による太鼓の演奏 で幕が開き、報徳学習発表では、大国 小5年生による寸劇や、市内の小・義 務教育学校(前期課程)での児童・生 徒による授業風景の投影、「夢さくら 交流会」生徒による発表が行われまし た。

基調講演は、草田旅人さん(平塚市 博物館学芸員)が「報徳仕法における 公共性と再分配」と題して、青木村で 行われた仕法を中心に講演しました。

パネルディスカッションでは、本協 議会加盟市町の6名の首長から報徳仕 法によるまちづくりの事例が述べられ ました。

閉会行事では、二宮金次郎のブロン ズ像が次回開催地の神奈川県秦野市 高橋市長へ手渡され「第 29 回全国報 徳サミット桜川市大会」は、幕を閉じ ました。